

ロシア革命と大戦の終結

1 / 1

奈良

平安

鎌倉

室町

安土桃山

江戸

明治

大正

昭和

今日の問い

ロシア革命は世界に何をもたらし、大戦は日本の社会をどう変えたのだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

1 ロシア革命とソ連

社会主義の国

しゃかいしゅぎ
社会主義

土地や工場を共有し平等をめざす考え。

レーニン

ロシア革命を指導し、新政府を率いた人物。

しべりあしゅっぺい
シベリア出兵

革命への干渉のため、日本などが軍を送った。

ロシアでは大戦が長引くなかで食料や物資が不足し、人々の不満が高まった。1917年、労働者や兵士が立ち上がって皇帝をしりぞけた(**ロシア革命**)。さらに同年、**レーニン**の指導で、労働者や兵士の代表会議(ソビエト)にもとづく政府がつくられた。

新しい政府は、土地や工場を国の共有にして平等な社会をめざす**社会主義**をかかげ、ドイツと単独で講和して戦争から手を引いた。1922年にはソビエト社会主義共和国連邦(**ソ連**)が成立した。

社会主義が自国に広がることをおそれた日本・アメリカ・イギリス・フランスなどは、1918年、革命に干渉するため軍を送った。これを**シベリア出兵**という。日本はとくに多くの兵を送り、ほかの国が撤兵したあとも1922年まで軍を残した。多くの費用と犠牲を出したこの出兵は、国内外から批判された。



2 大戦の終結と日本の好景気

大戦景気・米騒動

たいせんけいき
大戦景気

大戦中、輸出がのびて続いた好景気。

なりきん
成金

大戦景気で急に大もうけした人。

こめそうどう
米騒動

1918年、米の値上がりで各地に広がった騒ぎ。

1918年、ドイツが降伏して第一次世界大戦は連合国側の勝利で終わった。大戦中の日本は、ヨーロッパの国々が戦争で生産できなくなった物をアジアなどへ輸出し、アメリカへの生糸の輸出ものびた。造船・鉄鋼などの重工業が発展し、**大戦景気**とよばれる好景気になった。急に大もうけして大金持ちになった**成金**も現れ、日本は借金の多い国から貸す国に変わった。都市には工場で働く労働者が増え、その発言力も強まっていった。

一方で物価が上がり、賃金が追いつかず、人々の生活は苦しくなった。1918年、シベリア出兵を見こした米の買いしめもあって米の値段が急に上がると、富山県の漁村の女性たちの行動をきっかけに、米の安売りを求める**米騒動**が全国に広がった。政府は軍隊まで出して鎮めたが、責任をとって寺内正毅内閣は退陣した。民衆の力が政治を動かしたことは、のちの社会運動にもつながった。

問いへの答え

1917年のロシア革命でレーニンらが社会主義の政府をつくり、のちにソ連が成立した。日本などは干渉のためシベリア出兵を行った。大戦は1918年に終わり、日本は輸出がのびて大戦景気となったが、物価が上がって生活が苦しくなり、米騒動が全国に広がった。

次は **ノート** で、下線に語句を書きながら確かめよう →

